

科目名	新	社会学	担当者	服部 慶亘	部別	第一部	期間	通年	単位数	4
	旧	社会学								

【授業概要】

【授業目的】	人間は、独りで生きてゆくことの出来ない弱い存在である。故に、共同生活を営む者（仲間）が必要不可欠となる。また、社会生活は（必ずしも）自分の思い通りにゆくものではない。このような現実を、理論的・実践的に理解していきたい。
【履修条件】	特になし
【授業方法】	受講生自身も陥りがちな問題行動を例示し、講義する。教科書・参考書・プリント・板書を理解の助けとする。
【評価方法】	学年末試験（80%）と平常点（出席状況10%、受講態度5%、小レポート5%）により、総合的な評価をする。試験は論述式で実施する。
【教科書】	服部慶亘『補強版ストレス・スパイラル』人間の科学社、2004年（経済学部7号館横の丸沼書店にて販売）
【参考書】	追って指示する

【授業区分】

区分	授業内容	区分	授業内容
1	ガイダンス（講義の方針、展開方法、目標など）	16	問題行動の根源① 「問題行動」のとらえ方
2	状況（情況）判断	17	視聴覚機器による問題行動の理解①
3	社会（学）とは何か？	18	問題行動の根源② 同調行動
4	社会的動物としての人間① Double Happiness	19	問題行動の根源③ 他人志向
5	社会的動物としての人間② 生理的早産	20	視聴覚機器による問題行動の理解②
6	人間関係の諸相と構造① 総論	21	問題行動の根源④ 行為と行動
7	人間関係の諸相と構造② 地位（status）	22	問題行動の根源⑤ 日本（人）的「愛」「共感性」
8	人間関係の諸相と構造③ 役割（role）	23	問題行動の根源⑥ 罪
9	「らしさ」の培養① 文化（culture）	24	問題行動の誤対処① アノミー（anomie）
10	「らしさ」の培養② パーソナリティ（personality）	25	問題行動の誤対処② 人生縮小化
11	「らしさ」の培養③ ジェンダー（gender）	26	問題行動の誤対処③ リセット願望とリロード願望
12	「らしさ」の培養④ 県民性	27	問題行動の誤対処④ 日本（人）的「甘え」
13	アイドル（idol）工学 前半まとめ	28	問題行動の誤対処⑤ 防衛機制
14	実験演習Ⅰ	29	実験演習Ⅱ
15	前半まとめ	30	まとめ